

平成24年第2回(6月)
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	田川正治
2	本田芳枝
3	小池弘基
4	因辰美
5	久我純治
6	山脇秀隆

通告順 NO. 1 質問者 3番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
老朽化した学校給食センターの建て替えについて	<p>① PFI方式による民間委託の学校給食の事業内容は安全・安心の食育教育の観点から問題はないのか</p> <p>② 町職員の雇用の確保や農業振興の地産・地消、災害時の避難場所の炊き出しなど含めて、中・長期的な計画をたて町直営の自校方式の検討を</p> <p>③ PFI方式による民間委託と町直営でのセンター方式や自校方式の建設費などの比較は</p>	町 長 教 育 長
安心して子育てできる環境づくりの将来計画の策定について	<p>① 保育所や幼稚園など就学前児童が今後は増加していくが、待機児童を解消するための中・長期的な計画は検討されて策定されているか</p> <p>② 現在、国会で審議されている「子ども子育て新システム」について「日本保育学会」は「危惧される8つの疑問」を指摘する見解を発表するなど不安が広がっているが、町長の「新システム」についての見解を問う</p>	町 長
安全で安心して住みつけられる町づくりについて	<p>① 犯罪防止のための防犯灯や街灯を増設することの調査と計画の進捗状況は</p> <p>② 子どもやお年寄りが安心して歩けるための通学路や歩道の確保について</p>	町 長

通告順 NO. 2 質問者 7番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>子どもの人権侵害について</p>	<p>昨年、ある学童保育所で長期休み期間中に言うことを聞かない子どもたちを「悪い子」として対応した事例がありました。やりすぎた面があったので改善するように指導したと報告を受けましたが、根本的な問題解決になっていないのではないかと考えます。なぜそのようなことが起きたのか、その対応のどこがやりすぎなのか、原因を明確にしないとこのようなことが再び起きる可能性があります。子どもに携わる大人の問題意識の向上のために次の5点について質問します。</p> <p>(1) 事実関係の究明を (2) なぜ起きたのかの分析を (3) 指導員、教育委員会の研修体制について (4) 念書の影響 (5) 中央小学校の学童保育所の施設について</p>	<p>教 育 長</p>
<p>給食センター建て替えについて</p>	<p>24年度予算の給食センター建設費について</p> <p>(1) 給食センター検討委員会の答申への教育委員会の見解 (2) PFI方式調査に500万円もかける理由は (3) 今までの粕屋町のセンター方式で培ったものへの評価は</p>	<p>教 育 長 町 長 教 育 長</p>
<p>議会の情報公開について</p>	<p>「粕屋町議会基本条例制定」後の町長の見解について</p> <p>(1) 議会の情報公開における現時点での問題点 (2) 議会情報は誰のものか</p>	<p>町 長</p>

通告順 NO. 3 質問者 2番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 児童・生徒の通学路に対する安全対策について	1. 全国的に通学路において、死亡事故を含む自動車事故が多発していますが、本町の通学路の現状と安全対策に対する町長の考えを尋ねます。	町 長
2. JR原町駅にエレベーター設置の考えについて	1. 原町駅の階段が長いため、高齢者の方やベビーカーの利用者が増加している中、駅の利用が大変不便であり町民に優しい町づくりに対する町長の考えを尋ねます。	町 長

通告順 NO. 4 質問者 6番 因 辰 美

質問事項	質問の要旨	質問の相手
水害対策について	①多々良川に関する、現在までの洪水被害状況について ②河口から香椎線鉄橋までの河川整備状況について ③大川小学校の水害対策について	町 長 都市政策部長

通告順 NO. 5 質問者 5 番 久 我 純 治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>① 駕与丁公園は町民の誇れる公園のはずなのに</p> <p>② 粕屋町独自の地の利を活かしたマスタープランは出来ないものですか</p>	<p>駕与丁公園は粕屋町が県内でも誇れる公園です。周囲が4kmで福岡市が誇る大濠公園より倍の広さでもあり、立派な公園ですが猫天国です。周囲の整備が行き届いていない。</p> <p>粕屋町は他町にない地域的にも有利で、地の利がとてもよく、今までは自然のままに発展してきましたが、今後は独自で地の利を活かした町の活性化に努めなければいけない。又、マスタープランを考えなければならない。</p>	<p>都市政策部長</p> <p>町長</p>

通告順 NO. 6 質問者 13番 山 脇 秀 隆

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>土地開発公社の土地利用と今後の解散について</p>	<p>町の第3セクターである土地開発公社の理事会で、兼ねてからの懸案だった公社が抱える土地の処分が大方決定した。しかしながら、固定資産等の税込見込みはある程度予測がつくものの、未処理欠損金といまだ未処分の土地も存在する。今後、土地開発公社の早期解散が求められるなか、簿価割れした売却による損失を一時的に清算するには財政的に難しいものがあると考えられる。こうした問題もさることながら、いまだ売却の道筋すら見えていない土地も、売却かその活用かが求められる。現在、土地開発公社の理事会は、不在であり総務部長が代行している実態にもこうした重要な課題に直面している限り正統とはいえない。町長の見解を求める。</p>	<p>町 長</p>
<p>公共施設老朽化対策について</p>	<p>仲原村と大川村が合併して55年が経ようとしている。昔ながらの橋や道路、建物といった公共の施設や設備は、更新され新しいものにその耐用年数で入れ替わるのが普通である。粕屋町においてもその時期が到来し、更新の時期が近づいているのは間違いないことと考える。粕屋町中央保育所はその老朽化が進み、更新の時期を迎えたがそのままになっている。民間の活力を取り入れて行政は、考えているようだがそれがままならないようだ。町は、今年度予算で町有財産マネジメント支援業務委託料として町保有の施設や公有財産の適切なマネジメントを行い維持・更新・有効利用を進めるための費用を計上している。ここで進められ決定される事がままならないのではこの予算に問題が出てくる。給食センターの更新時期も平成26年度となっている今、これもままならないのはと考えられる。見解を求める。</p>	<p>町 長</p>